

八峰白神ジオパーク再認定審査

日本ジオパークでは、活動の質を保証するために4年に一度再認定審査を行っており、11月12日〜14日にかけて、八峰白神ジオパークの再認定現地審査が行われました。今回は日本ジオパーク委員会などから3人の審査員が来町し、審査を行いました。

日本ジオパーク委員会では、最も基本的な審査基準として「ジオパークを指す地域は、持続可能な地域社会の実現のために、ジオパークとして、その地域にあったやり方で住民、行政、研究者などの関係者が、ともに考え続けているか。また、そのために、これまでのやり方を変えざる覚悟があるか」と掲げています。今回の審査でも、この考え方をともに4年間の活動と今後の展望について検証が行われました。

また現地審査では、ジオサイトや拠点施設であるぶなっころんど森林科学館の紹介、町内の画家大高孝雄氏によるジオサイトを描いた絵画展の見学なども

行われました。

審査の3日間は和やかな雰囲気で見学つづき、3名の審査員と関係者の間で真剣に意見交換を行いました。



絵画展を見学する審査員

関係者ヒアリング

現況報告会で4年間の取り組みを紹介したあと、協議会の運営委員会を中心に、個別で審査員からヒアリングが行われました。ヒアリングでは、それぞれの立場でジオパークをどう活用しているか、これからどう活用していきたいかについて質問・意見交換がなされました。

ジオパーク活動の柱となる観光や教育への取り組みのため、協議会の運営には多岐にわたる分野のメンバーが関わっています。審査員は、「ジオパークは

あくまで『ツール』であり、地域の中でどう使っていくかが重要だ」と繰り返し強調しました。



現況報告会の様子

講評

現地審査の最後には審査員からの講評の場を設けました。講評では、ガイドを始めとした協議会の積極的な取り組みが評価される一方で、白神山と住民を結ぶストーリーを地域の人と一緒に作っていく必要があるという課題も提示されました。

結果発表

今回の再認定審査の結果発表は12月9日に行われます。結果は再認定か条件付き再認定かにか

分かれまます。再認定の場合は4年後、条件付き再認定の場合は2年後に再び再認定審査を行うこととなります。結果にかかわらず提示された課題を真摯に受け止めて、よりよいジオパーク活動を目指してこれからも丁寧な取り組みを進めていきたいと思ひます。



審査員にジオサイト「三十釜」を案内する様子

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒01822632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっころんど内

TEL 0185-77-3086